



有限会社エコ・ライス新潟  
新潟県長岡市藤川新田町字前島970-100  
TEL:0258-66-0070 FAX:0258-66-0447

# クイーン倶楽部だより 12月号



アレルギー対応食品開発のブラッシュアップ会議



ミルクレープ、チヂミ、フレンチトースト…。学生のアイデアプレゼン。



各々の学生が自分たちのレシピを紹介。

うおめま会議 2010

## アレルギー対応食品のブラッシュアップ会議

6次産業

大学

NPO

### 新たな新潟の食文化創造の可能性が見えた!

新潟県内のアレルギー対応企業がコラボしブラッシュアップを目指した、うおめま会議2010「アレルギー対応食品のブラッシュアップ会議」が行われました。

東京家政大学の中村教授、認定NPOアレルギー支援ネットワークの栗木氏の講演後、白藤プロジェクトの学生を中心に、先月のクイーン倶楽部だよりで紹介したホットサンドメーカー「ごはんDEサンド」を使って、オリジナルのアレルギー対応メニューを披露。参加者全員で試食しました。

新潟の企業が個別にアレルギー対応食品を開発、市場で認知度を上げることは困難です。今回の会議を通して、地域でまとまって企業同士、NPO、大学が連携することで食物アレルギーへの理解が深まり、新たな「食の新潟」を創造する可能性を見出した有意義な会議となりました。

## Dr中村の お米の話題



中村 健也(なかむらのけんや)

医学博士、東京家政大学家政学部栄養学科教授として教鞭をとり、  
『食と医療』の医療雑誌研究の第一人者として活躍中。

日本は暫くはお米の輸出は何らかの優遇策をつけるべきでしょう。我が国は幸いに中国という将来有望な市場と隣合せて。中国から安い農産品が入り、中国に高価な日本産品を売りつけます。中国では日本の農産品は安全で美味しいと評判が大人気です。現在の大人気は、粉ミルク、林檍、柿などです。日本のホブはお米ですが、何せお米を食へません。これからは何とかして秋粟原産で電気釜を買ってもらい、日本米を食へてもらう策がよいでしょう。中国では富裕層が増加しており、急激な物価高と賃金上げが生じており、日本農産品が食い込める時期にきています。日本人のたゆまぬ努力と工夫、そしてきめ細やかさがあれば、何とか開けてゆけますよ。

第48回 お米の輸出

今、TPP(環太平洋経済連携協定)が高潮し、TPPとは貿易自由化のことですが、首脳は例によって判断できず参加しませんでした。貿易を自由化するると、日本の農業は全滅するという観念からです。日本の農業は、自由党政権時代に農産品にさほど補助金、保護貿易、農地保護などで高コスト農産品に仕上げてきました。新政権もその引き継ぎしかりませんが、従来のままでゆくとことになっていきます。誰が見ても日本の農業は増減状態にあります。専業農家は数%で、それも高齢化、後継者難でお先真っ暗です。若い農民は会社勤めで農業外収入が主で農業は副業です。貿易の自由化(関税撤廃)は、国内の米産産を全滅させるとされています。しかし、TPPは農業以外の全体的なことです。工業製品など輸出しやすくなり、日本には利益大で魅力があります。私は、こちらTPP参加し農業革命を起した方がよいのではと思っています。農業革命とは、農業開国して世界に場し、打って出て農業を産業化するということです。モデルはアメリカにあります。アメリカは農業大国です。米、小麦、とうもろこし、アーモンドなどの農産品輸出大国です。開国以後一貫して政府と一体化して農業大国に仕上げました。